2021年度水俣フォーラム 事業計画（案）

2021 年度は 4 月から新たに常勤職員 2 名が加わり、将来にわたり活動を継続する体制がスタートする年となる。1500 万円を目標に募っている水俣フォーラム継続基金は、総会開催時点で 1100 万円超が寄せられており、多くの方が継続を強く後押しいただいている表れと認識している。2020 年度はコロナの影響をまともに受けた 1 年であったが、今年度はオンラインも利用しながら、水俣病記念講演会や水俣セミナーなどの定例的な活動だけでなく、社会の出来事と連動させる企画も進める所存である。また、いったん白紙に戻した福岡展の開催提案や、首都圏展の会場確定、昨年度は刊行に到らなかった水俣フォーラム NEWS の 2 冊刊行なども課題となる。コロナの状況に左右される面はあるにしても、会員・会友の力を借りながら、下記の事業計画の遂行に力を注ぎたい。

１. 水俣病公式確認６０年記念事業

①展示物のリニューアルと新規制作（パネル発注は福岡展開催決定後）

②水俣展全図録の編集（印刷発注は福岡展開催決定後）

２. 水俣展

①福岡展　グリーンコープに 2023 年開催を提案

2days 講演会（2021 年 11 月 7・8 日、福岡･西南学院大学コミュニティーセンター、205 席）

②首都圏展　2024 年の会場を確定

３. 講演会開催（いずれもオンラインを併用）

①記念講演会　第 18 回の開催（4 月 24 日、有楽町朝日ホール、356 人、うち来場 217 人）

第 19 回の開催準備（4 月、京都･立命館大学朱雀キャンパス、469 席）

②水俣セミナー　6 ～ 7 回開催、新宿常円寺、50 人規模、来場+オンライン

４. 機関誌発行

①水俣フォーラムNEWS　2 回発行、7・2 月、3 ～ 4 千部

５. インターネットによる発信

①各種 SNS での定期発信準備（ツール・体制の検討、発信内容の編集）

②海外向け多言語発信準備（言語確定、各言語専門家への協力依頼、翻訳ボラ募集）

③ホームページの刷新（団体概要的な内容を改良）

６. その他の事業

①水俣病記録映画の連続上映会（秋期、シグロと共催）

②石牟礼道子データベース共同製作の計画立案（石牟礼道子資料保存会と、検索システム）

③「水俣セミナー この講師のこの一言」または「水俣病講演目録」の作成準備
④水俣病ライブラリーの整理（書籍、映像、写真、音声）

７. 水俣病関連書籍の出版編集協力
①石牟礼道子エッセー
②ユージンスミス評伝
③田口ランディ水俣病関連著作

８. 水俣フォーラム継続基金
①募集を継続（2021 年～ 25 年のため、計 1500 万円目標、21 年 5 月時点で 1100 万）

９. 総会・理事会・運営委員会
①総会　6 月、全会員（決算、予算、役員選任）
②理事会・運営委員会（理事会 1 ～ 2 回、合同運営委員会 6 ～ 8 回程度）

１０. 事務所機能向上のための取り組み･運営基盤整備
①事務所の書棚とファイル棚の整備　7 月
②旧展示物を含む倉庫の整理と各種制作物・資料の廃棄　11 月

１１. 助成、補助金等
①環境再生保全機構地球環境基金助成金　480 万決定、3 年計画の 1 年目
「オンラインと対面型の併用による水俣病の普及啓発と人材育成」
②新規助成・補助金等申請の検討

※感染状況等により柔軟に事業を変更、展開する